

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



私たちの
アイドルはだかビーチ♡



■あらすじ■

薫、みりあ、千枝、ありす、桃華の5人は、TV番組のロケのために、
きれいな砂浜のある無人島にやってきた。
ロケが行われる前日の昼に、Pとともに船で到着した5人。
この日はフリーだったので、砂浜で遊ぶつもりだった5人だったが、
水着などが入った荷物を誰かが本土に忘れてきてしまった。
Pは5人に、コテージの中で待つよう言い残して、
荷物を取りに船で戻って行ってしまった――

薫

「あーあ、せっかくキレイな南の島に来たのに、
外に出ちゃダメなんて、つまらないよー」

ありす

「気持ちはわかりますが……。
えっと、プロデューサーさんは
いつごろ戻ってくるのでしょうか？」

桃華

「来るのにかかった時間の倍ですから、
日暮れ頃になりそうですわね」

薫

「ねえ、っっそ泳ぎに行かない？
夕方頃までに戻ればいいでしょ？」

千枝

「でも、千枝たち、水着も持ってないよ……？」

みりあ

「この際、裸で行っころ！」

ありす

「なっ……。私たち、アイドルですよ？
そんなふしだらなこと……」

薫

「でもこの島、他に誰もいないよー？」

桃華

「それもそうですわね。
私は泳ぎに行くのに賛成ですわ」

ありす

「私も泳ぎたいですし、行きましようか。
ただし浅いところだけにおきましよう。
それから水分補給をこまめにして、
日焼け止めもしっかり塗って……」

千枝

「そんなに心配しなくても大丈夫だよお。
千枝ちゃんはどうするー？」

薫

「裸は恥ずかしいけど、い、行きますっ」

「わーい！ じゃあ、みんなで行こー」

ありす「わあ、きれいな海……」
桃華「本当ですわね……。わたくしたちだけで
独り占めするのが
もったいない
ぐらいですわ」



みりあ「わーい！海だー！」
薫「海だー！」
千枝「薫ちゃん、待って、引っ張り過ぎだよー！」



みりあ「千枝ちゃん千枝ちゃん。そりゃー！（バシヤッ）」
千枝「ふえっ!? ……もっ、いきなりはズルいよー」
みりあ「あはははは。海たのしー！」
ありす（……子供ですね）





桃華（きれいなお魚さんですわね……。
なんとというお名前なのかしら）







薫 「ねえねえ千枝ちゃん。今みりあちゃんと話してたんだけど、

おしっここの飛ばし合いっこしない？」

千枝 「え？え？」

みりあ 「一番遠くに飛ばした人が勝ちだからねー」

千枝 「ええーっ？」

みりあ 「ふうー、すっきりするね♪」

女の子でも立っておしっこできるんだー！」

千枝 「うう……。ほ、ほんとはお外で

こんなことしちゃダメなんだよ?。」

薫 「でも千枝ちゃん、一番たくさん出てるよー」

みりあ 「だよね♪それに、一番速くに飛んでるのも

千枝ちゃんだよ! すごーい!」

薫 「千枝ちゃん、優勝だよ! おめでとう!」

千枝 「ふええ……。勝っちゃったよお!」



ありす「はああく……。
こうやって何もせず
ただのんびりするの
たまにはいいですねえ……」



桃華

(……お手洗いのためだけに
コテージまで戻るのも、
少々面倒ですわね……。
ここは、みんなが見てない間に
こっそり済ませてしましましょう)

桃華

(お、思いのほか大きな音が出てしまいましたわ……。
あちらにまで聞こえてないですわよね……。?)



じゅわんわん

みりあ「ふう、ちよっと休憩しよう。

いっぱい遊んだねー」

薫「うん。でもまだ遊びたいなー」

みりあ「もうすぐ日が暮れてきそうだけど、

あと少しなら遊べるかな。

何しよっか？」

薫「うーん、もっちよっと泳ぐー！」



薫

「あのね、さっき泳いでたら、
きれいなお魚さんがたくさん
泳いでるところがあったの。
それをみんなに見せたいな！」

みりあ「へええ、みりあもそれ見たい！
みんなを呼んできて、
そこを見に行っっか」

薫「うん、行っっか！」

みりあ「しゅっぱーっ！」
薫「おー！」



ありす（まずいです……！ のんびり泳いでいたら、
いつの間にか尿意が大変なことに……！
ああ、コテージまで戻る余裕もありません。
誰もこちらを見ていない今のうちに
ここで済ませてしまいましょう。
緊急事態ですから、仕方ありませんっ！）



ありす「はぁ〜……」

(気持ちいい……。すごい開放感です。
裸で海を泳ぎながらおしっこなんて、
いけないこと尽くしののに、
はまってしまいました……。)

ありあ「ありすちゃんーん！」

ありす「ひゃっ!？」

ありあ「ありすちゃんもこっちで一緒に泳がない?」

ありす「は、はいっ、少ししたら行きまっすっ」

ありあ「少し? いま何してるの?」

ありす「な、何もしてませんよっ」

ありあ「……?」



桃華（ふう……）

今日は予想以上に楽しい一日を過ごせましたわね

桃華（ヌーディストビーチというものに以前から興味がありましたので、

わざと水着入りの荷物を置き去りにしてしまいました……
うまく裸で遊ぶ流れになってよかったですわ♪）

あとがき

こんにちは！ この本をお買い上げいただきありがとうございます！

「シンデレラたちの」から始まる名前のイラスト本シリーズも3冊目になりました。今回はヌーディストビーチ的な内容の本を描きたかったので、こんな本になりました。いかがでしたでしょうか。僕としては、なかなかいい本になったと思っていますw U149の子たちの裸やおしっこ絵をたくさん描くことができて満足です。まあ他にも描きたい子たちはいるんですが（U149を読んでもみんな魅力的に見えますw）、他の子も描くと、一人あたりの描ける枚数が減ってしまうので、悩みつつも5人に絞りました。

ほとんどの絵は新規で描いたものですが、最後の絵は、以前出した「お風呂タイム」本の桃華ちゃんのシャワー絵を元に、背景などを変更したものです。いつものおまけイラストの代わりですね。夕日の中でシャワーを浴びるといのはなかなか気持ちよさそうですw 舞台は無人島ですが、こういう簡単なシャワーやコテージなどの施設はあることにしてこの本を作ってます。（島のモデルは特にありません）

ストーリーについて。最後の台詞でわかることですが、裸で遊ぶ流れになるように仕向けたのは桃華ちゃんでした。桃華ちゃん、策士です。でもPに迷惑をかけたので、このあと桃華はいつも以上にPに優しくして、Pをドギマギさせたいらしいです。

ちなみに8ページで桃華が泳ぎながら見ていた魚はオヤビツチャといいます。沖縄の海などでよく見られる魚らしいです。僕はあまり海に行かないので、見たことないですが…。

さて、もう何も思い浮かばないのでこれで終わります。読んでいただき誠にありがとうございました！

2019.11.12 有栖かずみ

奥付

誌名 シンデレラたちの
わくわくはだかビーチ
発行日 2019/12/31
Comic Market 97
発行者 有栖かずみ
サークル かずみ屋
印刷所 株式会社グラフィック 様
<https://www.graphic.jp/comic/>
Mail mail@a-kazumi.com
Web <http://a-kazumi.com>
pixiv <https://pixiv.me/a-kazumi>
twitter @arisu_kazumi_

アンケート

本作についてのアンケートがあります。全2問の簡単なものです。この本の感想や今後の希望など、書いていただくと嬉しいです！
下のQRコードかURLからアクセスしてください。

また、ツイッターなどでも感想を書いてもらえると嬉しいです！



<https://forms.gle/6h6nRJUMBLjJwDH1A>

禁止事項 (PROHIBITIONS)

- ・コンテンツの無断複写・無断複製・無断改変
(Unauthorized copying, reproduction and modification of the contents of this book)
- ・コンテンツの写真・複製のインターネット上へのアップロード
(Uploading of the photographs and copies of the contents of this book to the Internet)
- ・ネットオークション等への出品を含む本の転売
(Resale of this book, put up this book for online auction)

Copyright © 2019 有栖かずみ/Arisu Kazumi

木
木
木
木

木
木

木
木
木
木

